

現代の日本と世界	( )組	氏
	( )番	名

明子さんのクラスでは、「現代の日本と世界」の学習のまとめとして、「日本の経済が成長する中で宮崎県はどのような様子だったのだろうか」というテーマを設けて学習をしました。後の各問いに答えなさい。

**【資料1 宮崎県の経済成長率（実質）】**

(年)

※1975年は統計をとる方法が違うため前後が連続しない  
(内閣府資料より作成)

**【資料2 日本の経済成長率（実質）】**

1955年から1973年にかけて、年平均で10%程度の成長が続きました。

(年)

(内閣府資料より作成)

(1) 明子さんは、宮崎県の経済成長率を調べ資料1を作成しました。作成する中で、授業で学習した資料2の日本の経済成長率と比べ、Aの時期が一致していることに気がきました。Aの時期に年平均で10%程度の成長を続けたことを何というか答えなさい。

高度経済成長

(2) 明子さんは、資料1、2のBの時期に急激に経済成長率が下がっていることに疑問をもち、その理由を調べていく中で次の資料3を見つけ、aこの時期に起きたある出来事と関連があると考えました。

資料3をふまえ、下線部aについての明子さんの考えを書きなさい。その際、下線部aの出来事の名称を必ず使うこと。

**【資料3 原油の輸入価格】 (円/kl)**

1973年、第四次中東戦争をきっかけとして石油価格が大幅に上昇し（石油危機）、先進工業国の経済は不況になりました。

(年)

(財務省「貿易統計」、石油連盟「内外石油資料」より作成)

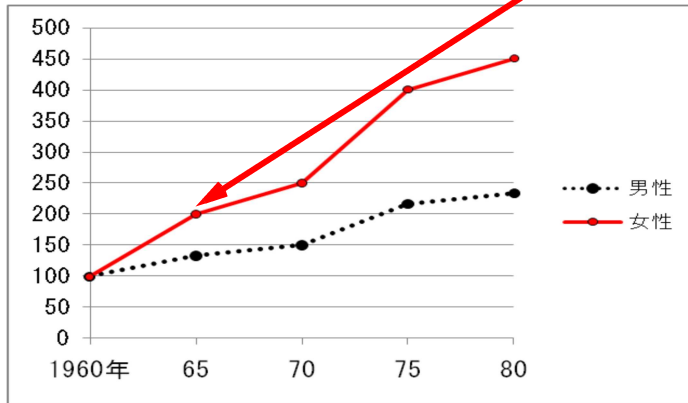
Bの時期に日本や宮崎県の経済成長率が下がったのは、原油の輸入価格が上昇していることから、石油危機（オイル・ショック）が起こったことが理由である。

関連に着目して、次のレポー

- ・ 1965年の値(20) ÷ 1960年の値(10) × 100 = 200
- ・ 同様に1970、75、80を計算する。

【資料4 宮崎県の労働者数の推移(指数)】

※1960年の人数を「100」としたときの指数



【資料5 宮崎県の労働者数の推移】

(単位:千人)

	男性	女性
1960	20	10
1965	40	20
1970	45	25
1975	65	40
1980	70	45

※千の位を四捨五入している。

(資料4、5は宮崎県統計調査情報データベースより作成)

【資料4から分かったこと】

1980年と1960年を比較してみると、男性の労働者数は約2.3倍増加しているのに対し、女性の労働者数は約4.5倍増加しており、女性の社会進出が著しく増加したと言える。

【疑問】なぜ、男性に比べ女性の労働者数の割合が大きくなってきているのだろうか。

【仮説】

資料( A )から考えると、( B ) ことにより、女性が社会に出て働きやすくなったからではないか。

(3) 明子さんが作成した資料4のグラフは、まだ女性の労働者数の指数が完成していません。資料5の数値から、女性の労働者数の指数を作図しなさい。(※資料4のグラフ中に作図すること。)

(4) 明子さんのレポートの【仮説】の(A)にあてはまる最も適切な資料を、下のア~ウから1つ選び、記号で答えなさい。また、(B)にあてはまる適切な内容を書きなさい。

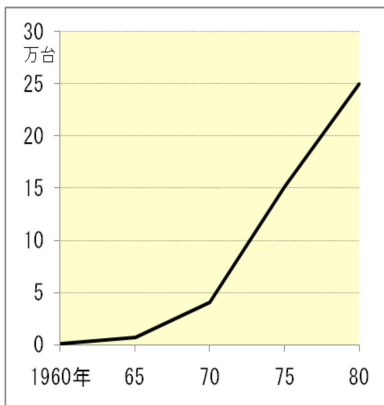
A

イ

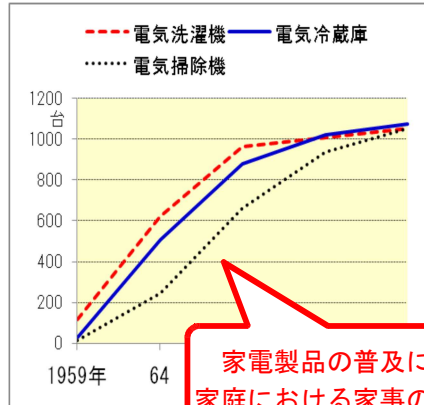
B

家電製品が普及することによって、家事の負担が減って女性にゆとりができた

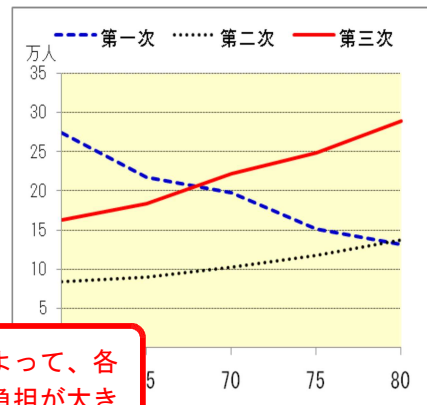
ア 自動車保有台数



イ 家電製品所有数(千世帯あたり)



ウ 産業別就業人口



家電製品の普及によって、各家庭における家事の負担が大きく減少しました。

(宮崎県統計調査情報データベースより作成)